

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和2年第1回美里町国民健康保険運営協議会

2 開催日時 令和2年2月20日（木）午後3時30分から午後4時15分まで

3 開催場所 美里町中央コミュニティセンター第3研修室

4 会議に出席した者

（1）委員

大森俊雄委員（公益代表）、伊藤正雄委員（公益代表）、渡邊雅光委員（公益代表）、横山眞和委員（保険医代表）、玉手英一委員（保険医代表）、野田清一委員（保険医代表）、木村和男委員（被保険者代表）、菅原隆司委員（被保険者代表）、佐々木恵美子委員（被保険者代表）

（2）事務局

税務課長 菅井清、町民生活課長 佐藤吉則、町民生活課課長補佐 中川由華
町民生活課国保年金係長 佐々木清孝、町民生活課主事 小林晃太郎

会議に欠席した者

なし

5 議題及び会議の公開・非公開の別

（1）議題 令和元年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について
令和2年度美里町国民健康保険特別会計予算について

（2）会議の公開・非公開の別 公開

6 非公開の理由

該当なし

7 傍聴人の人数

0人

8 会議資料

- ・令和元年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について
- ・令和2年度美里町国民健康保険特別会計予算について

9 会議の概要

(1) 議題の審議結果又は今後の対応

令和元年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）、令和2年度美里町国民健康保険特別会計予算、原案のとおり承認、町長へ答申。

(2) 詳細な意見（発言者氏名及び発言内容の記録（要点筆記））

【 会議の概要 】

午後3時30分開会。相澤清一町長挨拶。議長を会長の大森俊雄委員が行う。
会議録署名委員は、玉手委員、佐々木委員が行う。
相澤清一町長より諮問を受けた。

○大森会長：ただいま相澤清一美里町長より諮問を受けました、令和元年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について、審議に入ります。事務局より説明願います。

○中川課長補佐：（資料に基づき説明）

○大森会長：ただいま説明のありました、令和元年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について、質問ございませんか。

（意見、質問なし）

○大森会長：意見、質問がないようですので、令和元年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について、承認してよろしいでしょうか。

○委員一同：はい。

○大森会長：令和元年度美里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について、原案のとおり承認することに決しました。

次に、令和2年度美里町国民健康保険特別会計予算について、審議に入ります。事務局より説明願います。

○中川課長補佐：（資料に基づき説明）

○大森会長：ただいま説明のありました、令和2年度美里町国民健康保険特別会計予算について、質問ございませんか。

○横山委員：聴力検査は特定健診の中で実施するのでしょうか。

○中川課長補佐：特定健診とは別で65歳から74歳までで実施を考えております。

○横山委員：なぜ聴力検査を実施しようと思ったのですか。

○中川課長補佐：前回の議会で健康福祉課の方で事業実施することから、国保側でも実施予定として予算計上しております。

- 玉手委員：聴力機能が低下すると認知症リスクも高まるので、認知症予防としてはいいのではないのでしょうか。
- 中川課長補佐：あくまでも介護予防の一環ということで、聴力に不安のある方に受けていただくことを考えております。
- 野田委員：令和2年度当初予算の減額は、後期高齢に移行する被保険者が増えたからでしょうか。
- 中川課長補佐：後期高齢に移行する方もおりますが、その他に社保加入など被保険者の減少が大きな要因と考えられます。
- 菅井課長：前年度当初の予算は、被保険者数の減少により、均等割額、平等割額の減少はあるものの、所得割額の基本となる課税所得額が大きな落ち込みは少ないと見込み、合計で5億3,241万2千円を計上しておりました。しかし、経済情勢の大きな変化や、自然災害の発生、農業の法人化などにより、課税対象となる所得が減少し、前年度と比べて7億7,000万円程少なく、また、低所得者軽減の軽減額の増、国民健康保険税で5,200万円程大きく減少しました。そのため、補正予算として一般被保険者分3,304万3千円の減額をお認め願いました。令和2年度の予算は経済情勢の落ち込みに加え、消費税増税の影響や、台風19号による被害、夏場の高温による米作の一等米比率が落ち込んだことを考慮し、計上しております。収入見込率は現年分95.3%、滞納繰越分は15.0%と設定しております。なお、3月補正後の予算額と令和元年度の予算額の差では4,313万4千円です。
- 佐藤課長：歳出については、被保険者は減少しているが、療養給付費等は減らないのが現状であります。令和2年度予算では、前年度と比較して1億1,900万円程減額しており、歳入の税収は減っているのに歳出の医療費は横ばいとなっているため、その差は財政調整基金の方から補填する形で予算編成しております。
- 大森会長：現在、財政調整基金はいくら保有しているのでしょうか。
- 中川課長補佐：9億4,615万3千円です。
- 大森会長：その他に何か質問はありますか。
- 野田委員：過去の国保新聞に宮城県の特設健診受診率が全国1位という記事がありました。現在はどのようなのでしょうか。
- 中川課長補佐：3年連続1位であります。受診率は高いが、受診者数は減ってきております。
- 野田委員：美里町の受診率はどのくらいなのでしょうか。
- 中川課長補佐：美里町は平成30年度で43.4%となっております。
- 佐藤課長：美里町は県内でも受診率は低い方なので、様々な保健事業を充実させて、目標値の60%まで引き上げていきたいと考えております。
- 中川課長補佐：40歳から64歳まで男性で26.3%、女性で37.0%。6

5歳から74歳までの男性で48.0%、女性で52.2%となっております。やはり若い年齢層はどうしても低いので、未受診者に対するアプローチを委託するために予算措置しております。

○大森会長：他に質問はありませんか。

（意見、質問なし）

○大森会長：意見、質問がないようですので、令和2年度美里町国民健康保険特別会計予算について、承認してよろしいでしょうか。

○委員一同：はい。

○大森会長：令和2年度美里町国民健康保険特別会計予算について、原案のとおり承認することに決しました。その他、事務局からございますか。

○中川課長補佐：令和元年台風第19号について、病院窓口の一部負担免除は令和2年1月31日となっておりますでしたが、この度、厚生労働省から宮城県を通じて令和2年3月31日まで延長となる旨の通知がありました。現在、美里町では国民健康保険の方で窓口一部負担免除の対象となる世帯が2世帯あり、その2世帯には3月31日まで延長となった一部負担証明書を送付しております。

○大森会長：他に質問はありませんか。

（意見、質問なし）

○大森会長：これをもちまして、令和2年第1回美里町国民健康保険運営協議会を終了します。